

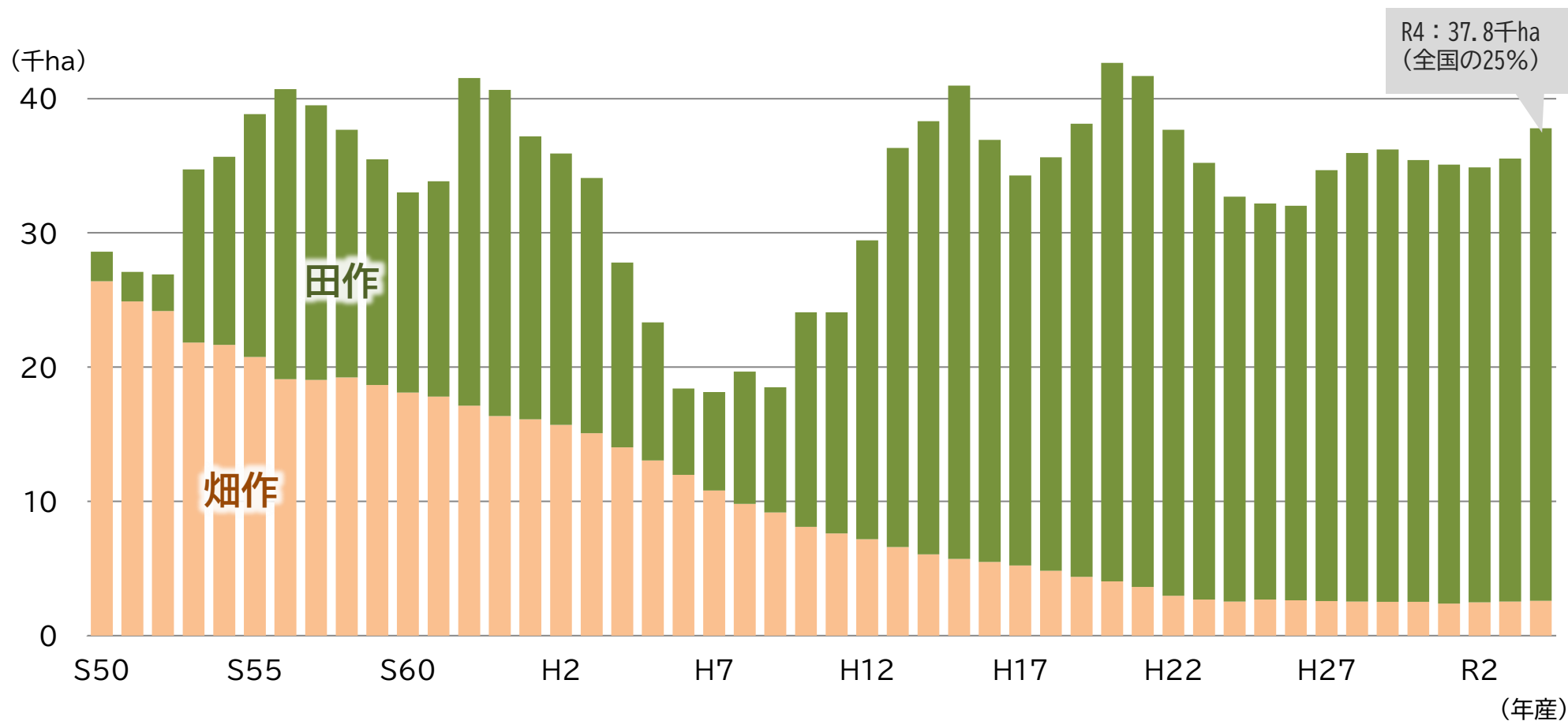
令和6年1月26日
東北大豆セミナー資料

大豆をめぐる 情勢について

東北農政局生産振興課

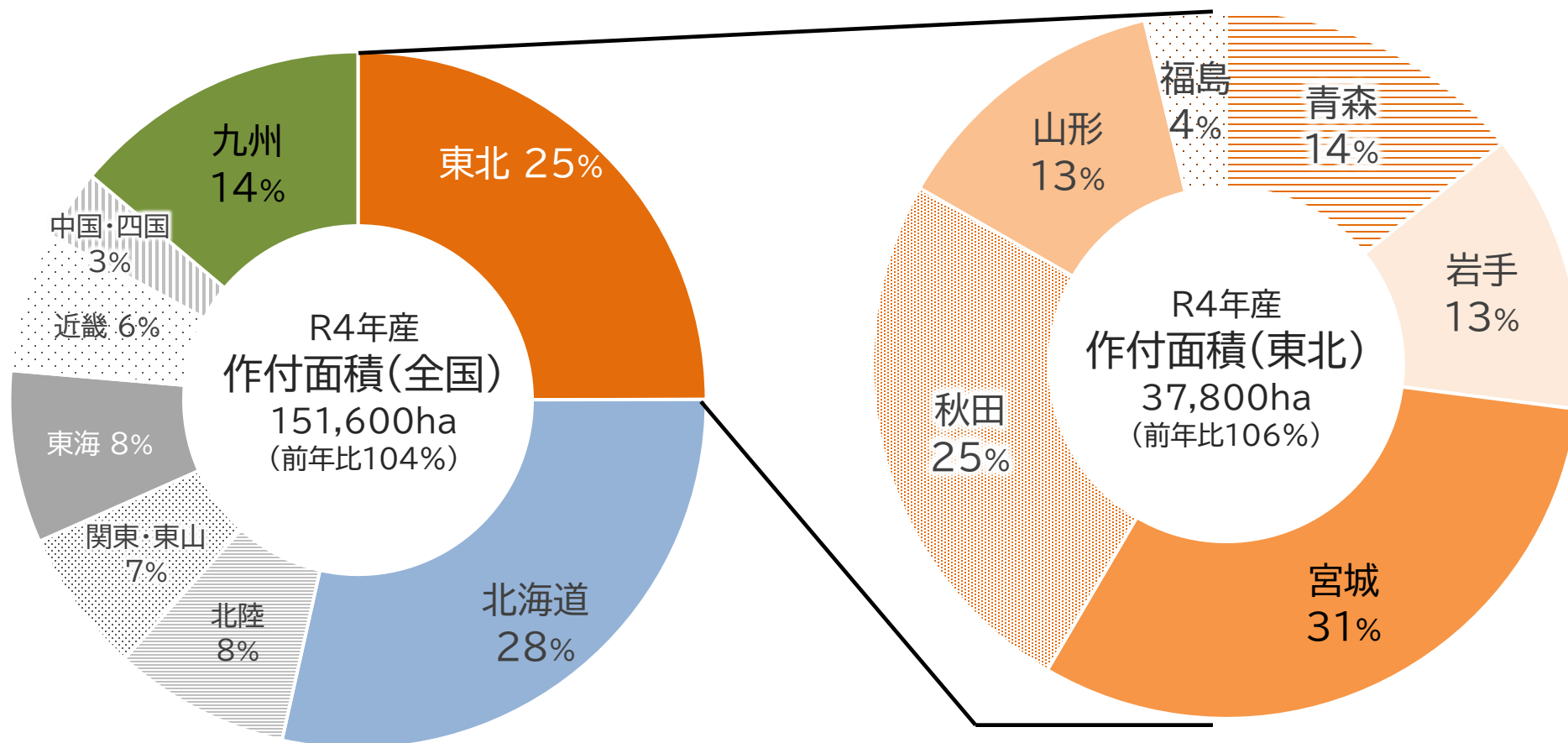
東北地域の作付面積の推移

東北地域の大豆作付面積の推移



地域別、東北県別の作付割合(R4年産)

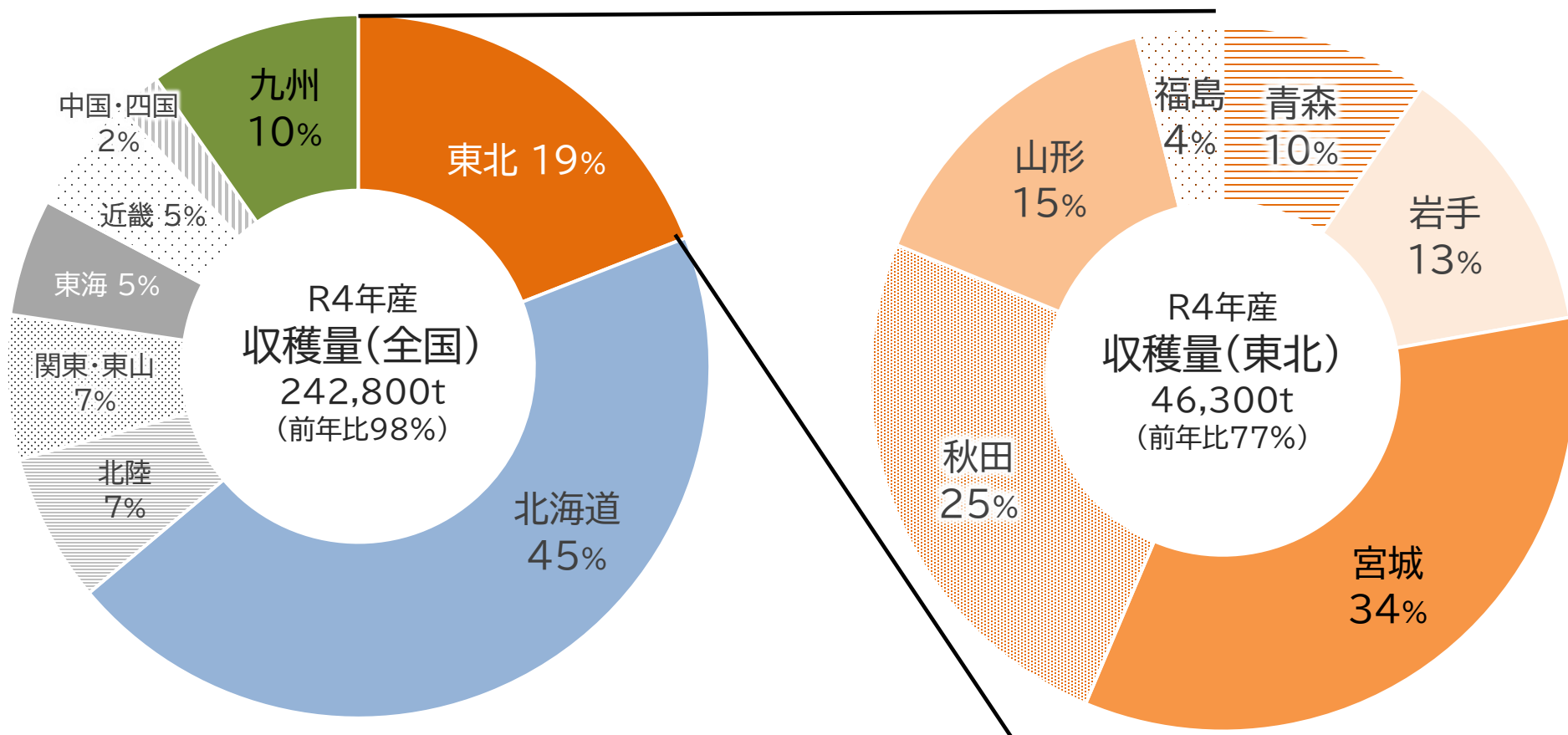
大豆の地域別及び東北県別の作付面積の割合(R4年産)



資料:農林水産省大臣官房統計部「作物統計」

地域別、東北県別の収穫量の割合(R4年産)

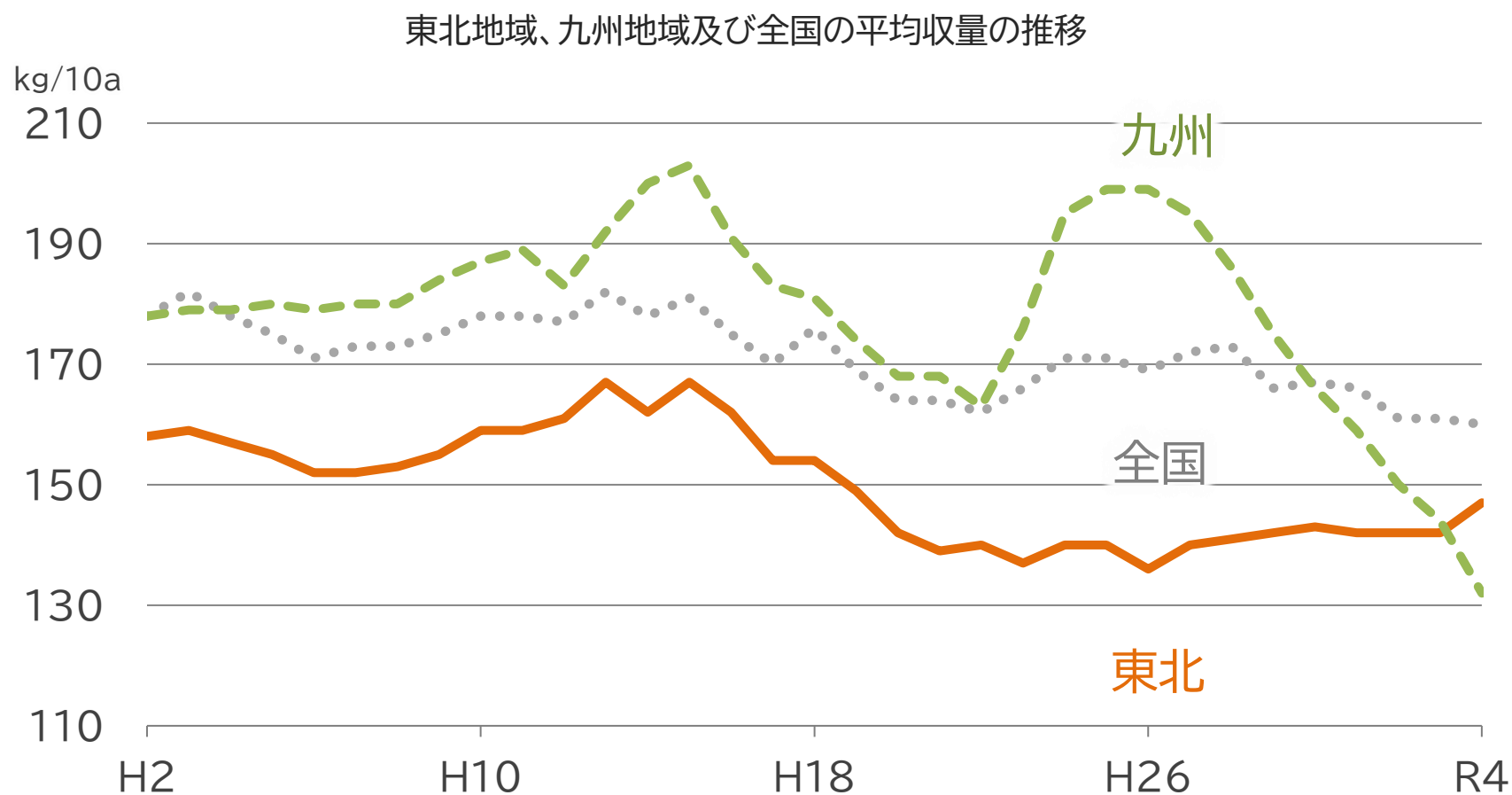
大豆の地域別及び東北県別の収穫量の割合(R4年産)



資料:農林水産省大臣官房統計部「作物統計」

東北地域の平均収量の推移

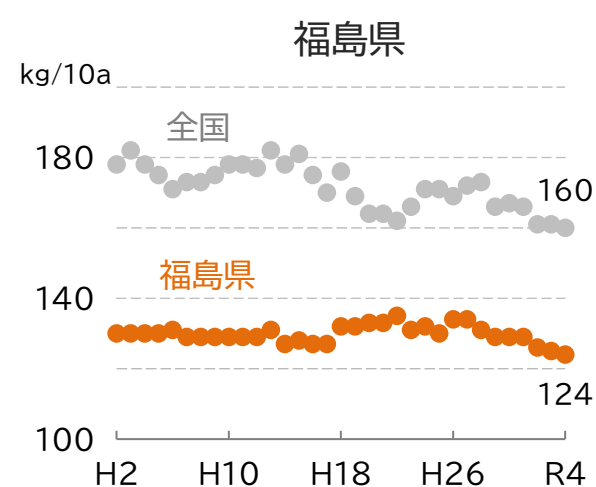
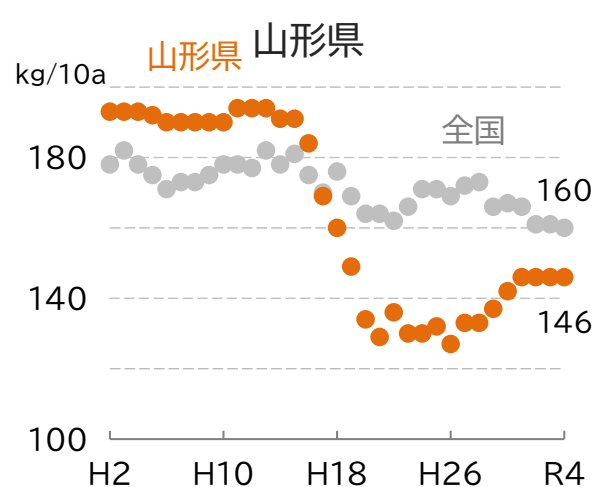
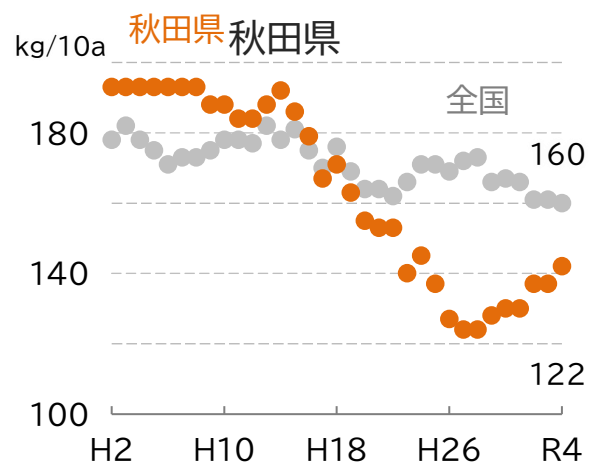
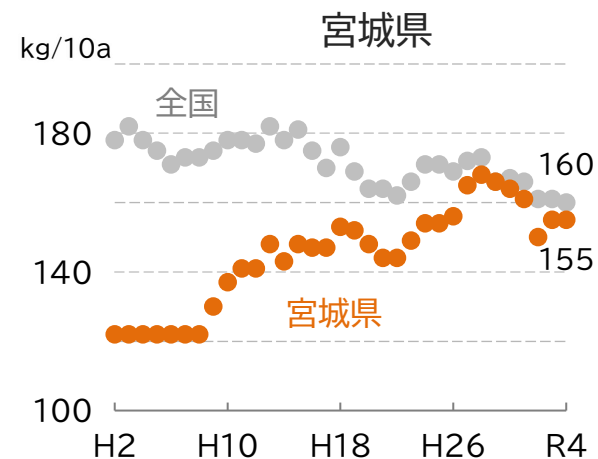
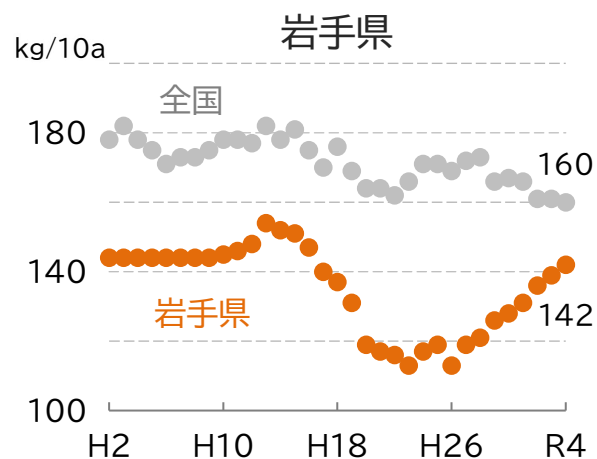
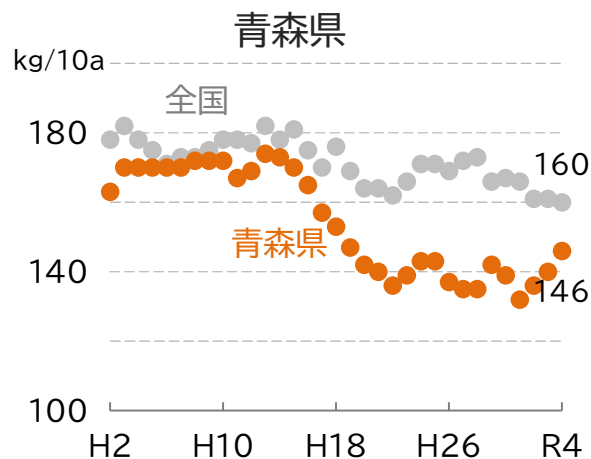
平均収量: 直近7か年のうち最高・最低を除いた5か年の平均



資料: 農林水産省大臣官房統計部「作物統計」

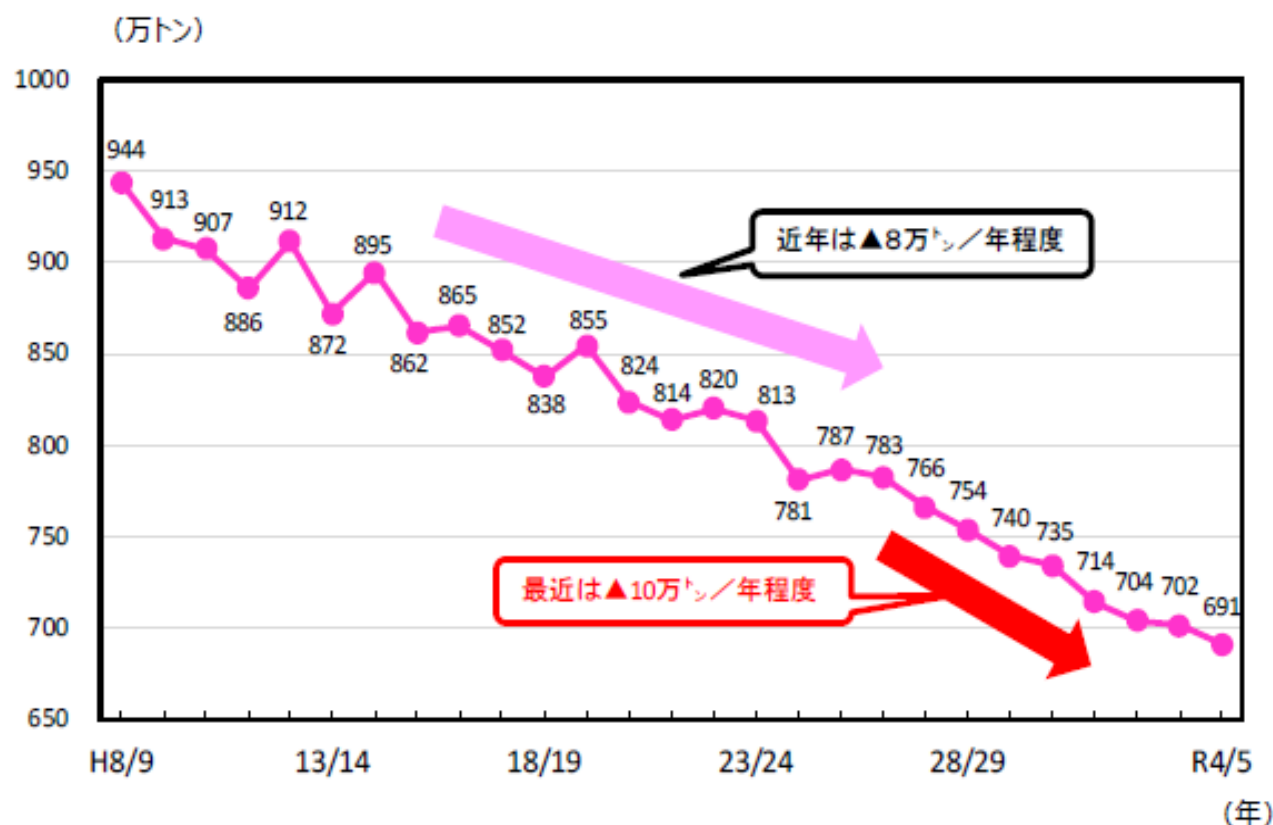
東北各県の平均収量の推移

平均収量: 直近7か年のうち最高・最低を除いた5か年の平均



主食用米の需要動向

【主食用米の需要量の推移】



主食用米の需要は
年々減少

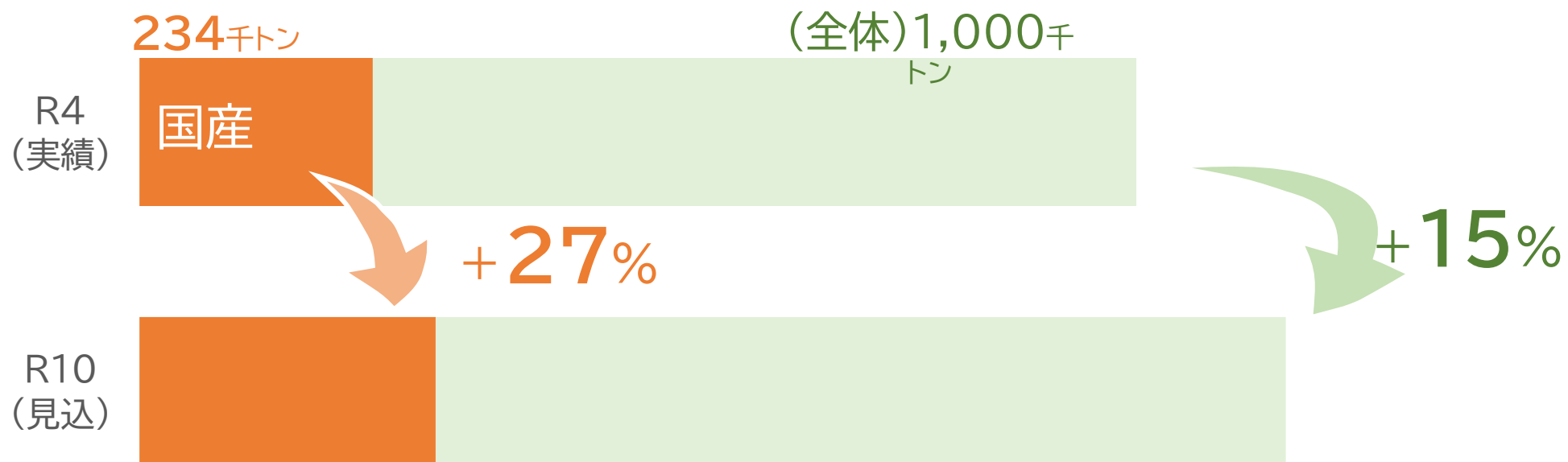


主食用米から戦略
作物等へ作付け
転換が必要

資料：農林水産省「米をめぐる状況について」

大豆の需要動向

食用大豆の需要は堅調の見込み



食用大豆の需要見込み

R4実績は「食料需給表」を基に農林水産省穀物課推計

R10見込は各業界団体からのアンケート結果(n=133)を基に農林水産省穀物課推計

大豆の作付拡大への期待

主食用米の需要 **減**

大豆の需要 **増**

主食用米から大豆へ
作付転換が期待される

＼大豆生産を支援します／



畑作物産地形成促進事業

低コスト生産等に取り組む場合に、取組面積に応じて支援

麦・大豆生産技術向上事業 等

営農技術の導入、施設整備・機械導入等を支援

要望調査中

麦・大豆の生産拡大等に活用できる補助事業

麦・大豆生産技術向上事業

●生産性向上の推進 ●新たな営農技術等の導入 ●生産拡大に向けた機械・施設の導入 等

産地生産基盤パワーアップ事業（国産シェア拡大対策(麦・大豆)）

I 麦・大豆機械導入対策

●生産拡大に向けた機械・施設の導入等

50万円以上5,000万円未満の機械等が対象

ただし、ほ場で使用する機械に限り、10,000円未満の機械が対象)

＼詳細はこちら／



生産性向上の推進 [定額]

- 会議の開催・出席 ●ほ場状況の把握等(日当、時間外手当、消耗品費等) ●団地化に必要なほ場改修・点検
- 試行的団地拡大(地代等) ●技術習得等の研修 ●衛星写真等の購入 ●農業コンサルタント等への相談
- 団地化地図のデジタル化 …等に要する経費を想定

新たな営農技術の導入 [定額]

- 排水対策技術 ●効率的播種技術(耕うん同時畝立て播種等) ●先進技術(カットブレーカー等)
- 土壌診断に基づく土づくり ●麦種に応じた最適な施肥の実施 ●需要に応じた品種転換
- 化学肥料の低減 ●化学農薬の低減 ●スマート農業技術を活用した生産の高度化・省力化
- 麦・大豆の新規作付け ●複数年契約の導入 ●農地の均平化 を新たに導入した場合に定額助成

生産拡大に向けた機械・施設の導入等 [1/2以内]

現在、当該事業では要望調査していません。産地生産基盤パワーアップ事業(次ページ)で要望調査実施中です。

産地生産基盤パワーアップ事業

国産シェア拡大対策(麦・大豆)のうち麦・大豆機械導入対策

麦・大豆の生産拡大に向け、生産性向上や効率化に必要な機械・施設
(50万円以上5,000万円未満、ただし、ほ場で使用する機械に限り、
10,000万円未満の機械が対象)の導入、リース導入及び改良を支援

対象となる機械・施設の例

生産性の向上のためのアタッチメント

●ブロードキャスター ●サブソイラー ●プラウ 等

生産の高度化・効率化に必要な機械・施設

●高速播種機 ●農業用ドローン ●コンバイン ●乾燥調製施設(乾燥機、選別機など) 等

上記の作業機械を牽引するためのトラクター